



発達の気になる子どもとその家族が、いきいきと自分らしく生きていける社会、また、すべての子どもとその家族が、お互いにのびのびと育ち合える地域社会づくりを目指しています。

近年、発達障がいといわれる子どもたちが増加し、その数は、子どもの出生率の6%にのぼるといわれています。特に幼少期には、親が育てにくさを感じながらも、適切なアドバイスや療育を受ける機会は十分とは言えません。また、核家族化が進み、地域での支え合いも少なくなってきた今、子育てについて気軽に相談できる相手が見つからない等、母親への負担が集中しがちです。そのため、そうした子どもたちと保護者を支援する永続的・計画的な活動ができる組織作りを目指し、より多くの市民に支持していただけるような事業展開を実施するため、専門知識を有する人たちとともに、平成21年NPO法人子どもの発達を支援する会きららを立ち上げました。

きららの事業



【こども療育センター こころん】

(未就園児と保護者を対象とする親子療育・児童発達支援)

園や学校を継続して訪問し、子どもの発達特性に合わせた直接支援を訪問先の担当者と一緒にを行う保育所等訪問支援事業を実施



【こども療育センター きらりんくらぶ】 (児童発達支援)

【あそびと学びの教室 きらキッズ】 (放課後等デイサービス)

子どもたちの「あそび」と「学び」を支えるために、発達課題を正確に把握し、適切な療育を実施



【子ども発達支援事業 ぷち】 (岡崎げんき館市民会議事業)

発達の気になる子どもたちと保護者に対するげんき館での遊びの提供と相談を実施

子どもたちはみな素晴らしい可能性を秘めています。子どもたちとその家族の笑顔のために仲間とともに、日々頑張っています。